



# はしがみ

# No.42

8月号(August)

# 議会だより

暮らし人  
地域を豊かに



## ～階上町交通死亡事故ゼロ2000日達成！～

7月20日、町は交通死亡事故ゼロ2,000日を達成し、関係者らが達成祝い並びに交通事故抑止決起集会を開催しました。



三陸復興国立公園  
みちのく瀬風トレイル  
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 6月定例会

光ケーブル移設工事  
254万円

04 ここが聞きたい

3議員が一般質問

08 質疑あれこれ

報告及び専決処分

# 第2回 6月定例会

令和2年第2回定例会を6月9日開会し、6月11日閉会しました。  
今回の議会では、報告1件、専決処分13件、条例の一部改正2件、補正予算2件、その他5件、計23件が上程されました。また、議員派遣の件1件が提出されました。審議の結果、いずれも承認、可決しました。一般質問は、3人の議員が行いました。

## 光ケーブル移設工事 254万円

一般会計補正予算

329万円を増額補正

### ▽2年度一般会計補正予算 (第1号)

329万円を増額補正し、  
予算総額を71億8988万  
円としました。

歳入は、国庫支出金30万  
円、県支出金117万円、  
諸収入181万円を増額し  
ました。

歳出は、民生費446万  
円、土木費495万円等を  
減額し、総務費1780万  
円等を増額しました。

歳出の主なものは、光  
ケーブルの復旧及び移設工  
事に係る経費254万円、  
小中学校保健室エアコン設  
置工事に係る経費122万  
円等です。

### ▽2年度漁業集落排水事業 特別会計補正予算(第1 号)

90万円を増額補正し、予  
算総額を5496万円とし  
ました。

歳入は、繰入金90万円を  
増額しました。

歳出は、総務費90万円を  
増額しました。

### 令和2年度 各会計の補正額及び予算総額

区 分	補 正 額	→	予 算 総 額
一 般 会 計(第1号)	329万円	→	71億8,988万円
特別会計 漁業集落排水事業(第1号)	90万円	→	5,496万円

※金額は、すべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

### ■報告

#### ▽元年度一般会計繰越明許 費繰越計算書報告

元年度に定めた地域密着  
型サービス等施設整備事業、  
保育所等整備事業等に係る  
繰越計算書を調整し、報告  
するものです。

### ■条例の一部改正

#### ▽階上町国民健康保険条例 の一部改正

新型コロナウイルス感染  
症に感染した町国民健康保  
険の被保険者等へ傷病手当  
金の支給に伴う所要の改正  
及び条文の整理をするため  
の一部改正。

#### ▽階上町介護保険条例の一 部改正

介護保険法施行令の一部  
改正に伴い、低所得者の保  
険料軽減強化に係る、所要  
の改正を行うための一部改  
正。

### ■その他

▽階上町教育委員会の委員  
に任命する者につき同意  
を求めることについて  
1人の委員の任期満了に  
伴い、安田友久氏の任命に  
同意しました。

▽階上町農業委員会の委員  
に任命する者につき同意  
を求めることについて  
任期満了に伴い、14人の  
委員の任命について同意し  
ました。



安田友久氏

郷州公典氏・阿部範彦氏  
荒道秀雄氏・鹿原 仁氏  
久保雅庸氏・坂 政和氏  
笹山勝彦氏・堰合とし氏  
土橋 剛氏・百目木憲一氏  
長根義則氏・濱谷秀雄氏  
横道文男氏・中城 司氏

▽階上町農業委員会委員の  
任命に当たり委員の少な  
くとも4分の1を認定農  
業者等又はこれらに準ず  
る者とするにつき同意を  
求めることについて  
農業委員会等に関する法  
律第8条第5項ただし書及  
び同法律施行規則第2条第  
2号の規定により、委員の  
少なくとも4分の1を認定  
農業者等又はこれらに準ず  
る者とするため。

▽階上町固定資産評価審査  
委員会の委員に選任する  
者につき同意を求めるこ  
とについて  
1人の委員の任期満了に  
伴い、木村良三氏の選任に  
同意しました。

▽人権擁護委員の候補者に  
推薦する者につき意見を  
求めることについて  
1人の委員の任期満了に  
伴い、岩谷悦子氏の推薦に  
同意しました。

▽階上町農業委員会の委員  
に任命する者につき同意  
を求めることについて  
任期満了に伴い、14人の  
委員の任命について同意し  
ました。

▽階上町農業委員会の委員  
に任命する者につき同意  
を求めることについて  
任期満了に伴い、14人の  
委員の任命について同意し  
ました。

▽階上町農業委員会の委員  
に任命する者につき同意  
を求めることについて  
任期満了に伴い、14人の  
委員の任命について同意し  
ました。

■ 専決処分

▽ 階上町税条例等の一部改正

改正

税制改正に係る地方税法の一部改正に伴い、所有者不明土地等に係る固定資産税の課税上の対応として、現に所有している者の申告の制度化及び使用者を所有者とみなす制度の拡大の規定その他所要の改正をすることを専決処分したものであるため、承認を求めるとともに、

▽ 階上町地方活力向上地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

例の一部改正

税制改正に伴い、課税免除の適用期間が2年間延長されたため、所要の改正をすることを専決処分したものであるため、承認を求めるとともに、

▽ 階上町国民健康保険税条例の一部改正

条例の一部改正

税制改正に係る、地方税法施行令及び所得税法等の一部改正に伴い、課税限度額の引き上げに係る規定その他所要の改正をすることを専決処分したものであるため、承認を求めるとともに、

▽ 階上町税条例の一部改正

正

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の措置による地方税法の一部改正に伴い、納税の猶予制度の特例に係る規定その他所要の改正をすることを専決処分したものであるため、承認を求めるとともに、

処分したものであるため、承認を求めるとともに、

▽ 階上町介護保険条例の一部改正

一部改正

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴い、感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における介護保険料の減免について、所要の改正をすることを専決処分したものであるため、承認を求めるとともに、

▽ 元年度一般会計予算

8185万円を増額補正し、予算総額を60億491万円としました。

▽ 階上町国民健康保険税条例の一部改正

条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴い、感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における国民健康保険税の減免について、所要の改正をすることを専決

▽ 元年度国民健康保険特別会計予算

589万円を増額補正し、予算総額を15億9021万円としました。

▽ 元年度漁業集落排水事業特別会計予算

12万円を減額補正し、予算総額を4419万円としました。

▽ 元年度介護保険特別会計予算

827万円を減額補正し、予算総額を13億3654万円としました。

▽ 元年度後期高齢者医療特別会計予算

27万円を減額補正し、予算総額を1億2231万円としました。

▽ 2年度一般会計予算

15億169万円を増額補正し、予算総額を71億7169万円としました。

▽ 2年度一般会計予算

1490万円を増額補正し、予算総額を71億8659万円としました。

▽ 2年度後期高齢者医療特別会計予算

428万円を減額し、基金積立金601万円を増額しました。

▽ 2年度一般会計予算

歳入は、繰入金585万円を減額し、国民健康保険税424万円等を増額しました。

▽ 2年度一般会計予算

歳入は、繰入金11万円等を減額しました。

▽ 2年度一般会計予算

歳入は、繰入金13億5294万円、繰入金1億4875万円を増額しました。

▽ 2年度一般会計予算

歳入は、国庫支出金1490万円を増額しました。

▽ 2年度一般会計予算

歳入は、民生費1491万円を増額しました。

▽ 2年度一般会計予算

歳入は、繰入金13億5294万円、繰入金1億4875万円を増額しました。

▽ 2年度一般会計予算

歳入は、繰入金13億5294万円、繰入金1億4875万円を増額しました。

▽ 2年度一般会計予算

歳入は、繰入金13億5294万円、繰入金1億4875万円を増額しました。



一般  
質問

ここ

が聞きたい

第2回定例会では3議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■ 長根 岩夫 議員 5ページ

- 1 生活保護基準の見直しについて
- 2 ふるさと納税について
- 3 中学生へのピロリ菌検査等について

■ 荒谷 憲輝 議員 6ページ

- 1 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について
- 2 ハマの駅あるでい～ばの運営について

■ 寅谷 正 議員 7ページ

- 1 浜谷町長の政治姿勢について
- 2 子育て支援策について
- 3 広報はしかみ全戸配布の件について
- 4 小中学校後援会寄付金徴収に関する周知徹底について
- 5 小白浜海岸の「磯焼け」拡大の原因と対策について
- 6 日本海溝大津波に関する対策について

県下町村議会議員研修会

7月9日、青森市で開催された「県下町村議会議員研修会」に、議員13名が参加。

- 講師 政治評論家 有馬 晴海 氏
- 演題 これからの政局・政治展望



議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	7月20日	新農業委員会組織会に伴う新旧委員合同懇親会費	5,000円

議会活動

5月

- 4日 議員全員協議会
- 19日 郡議長会監査・役員会
- 27日 第16回写真コンテスト表彰式



6月

- 2日 議会運営委員会
- 9日 第2回定例会本会議
- 9日 議員全員協議会
- 10日 第2回定例会本会議
- 10日 総務財政常任委員会
- 11日 第2回定例会本会議
- 11日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 16日 町生涯学習まちづくり推進本部員会議
- 18日 郡議長会臨時総会
- 26日 八戸地域広域市町村圏事務組合臨時会

7月

- 3日 議会だより編集委員会
- 9日 県下町村議会議員研修会
- 10日 議会だより編集委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 20日 町交通死亡事故ゼロ2000日達成祝い並びに交通事故故抑止決起集会
- 20日 新農業委員会組織会に伴う新旧委員合同懇親会
- 21日 議会運営委員会
- 21日 議員全員協議会
- 21日 第3回臨時会本会議
- 22日 議会だより編集委員会
- 31日 議員全員協議会

## 生活保護基準の見直しについて

〔町長〕 国では生活扶助基準等を見直し中

問① 国は平成30年度から3年を

かけ生活保護基準の見直しをするようになってい  
①保護基準の見直しの影響と、標準的な高齢者2人世帯と母子2人世帯の支給額を伺う。  
②本町の保護世帯数と保護者数、保護率について近隣自治体との対比を含め伺う。  
③新型コロナウイルスの影響を踏まえ、保護世帯への支援等について町の考えを伺う。

答① 町長

①国では生活扶助基準と消費実態の是正や、母子加算、児童扶養加算の



長根岩夫 議員

見直し中であり、現在まで本町では影響を受けた方はない。

生活保護費は、夫婦共に65歳の高齢者世帯の支給額11万1980円で医療費、介護費が給付され、住宅扶助は最大3万円支給される。また、母子2人世帯で母30歳、子4歳の保障水準額は13万8千円で医療費、住宅扶助が支給される。

②平成31年4月現在で134世帯、保護者数は159名で保護率は1・19%、郡内では三戸町が1・9%で多く、本町は4番目となっている。

③保護世帯の相談支援は社会福祉主事が担当し、福祉事務所への報告を行っている。新型コロナウイルスの影響による困窮者にも相談支援を行い、福祉サービスのサポートを行っている。

問② 低所得者で保護世帯と同程度の所得の世帯について、町は把握をしているのか。また生活支援の対策は考えているのか伺う。

令和元年度の経済的な相談は延べ120件あり、22件は保護の対象となっている。福祉事務所や民生委員と協力し、見守りや相談支援事業の強化を

答② 健康福祉課長

してまいりたい。



## ふるさと納税について

〔町長〕 2つのポータルサイト活用により寄附額の増加を図る

問① 県の納税ランキングによると、

郡内では南部町が約2億8千万円で4位、階上町は約280万円で36位となっている。

①本町の返礼品割合が5・7%と極めて少ない時期でもあったが、返礼品割合の推移と、寄附額の増収を図るための対策を伺う。

答① 町長

②本町の寄附額から、他自治体への寄附控除額と経費等を差し引いた実収入額を伺う。

①返礼品の割合は平成28年度に5・7%であったが「ふるさと納税指定制度」の要件から3割以内とされ、令和元年度は27・9%となり、ポータルサイトを利用している寄附は約9割で、寄附額が539万円と有用性が分

中学生へのピロリ菌検査等について

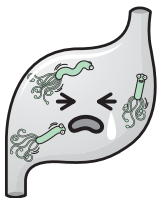
〔町長〕 新型コロナウイルス感染症が抑えられた際に、医師会等と連携し進める

問① 町では、以前に「八戸医師会

と協議し八戸市の動向を踏まえ検討する。」としていたが、八戸市では今年度からピロリ菌検査を予算計上している。本町のその後の対応を伺う。

答① 町長

中学生への実施について、新型コロナウイルス感染症が抑えられた際に医師会等と連携し、モデル事業での陽性者数実態調査を行い、検討の上進める。



# 新型コロナウイルス感染拡大 防止対策について

〔町長〕危機管理対策本部を早期に設置し、感染防止対策の徹底を図る

問①

① 新型コロナウイルス ウイルス感染拡大防止対策として、危機管理対策本部の設置、各施設、観光施設、教育福祉施設への対応、町の係る事業、行事への対応等の経緯を伺う。

② 町の係る給付事業、独自支援策を決定された機関や、特別定額給付金事業、はしかみ応援振興券、緊急雇用創出事業、小規模事業者経営改善資金融資に係る利子補給事業、医療福祉事務所への不織布マスク配布事業、小中学校給食費の無償化、各種税の徴収猶予の特例制度の要件や現在までの進捗状況、申請給付に関するPR等を伺う。

答①

町長



荒谷 憲輝 議員

① 感染拡大防止対策について、2月27日に危機管理対策本部を設置し、各課と連携を取りながら政府及び県の対処方針に沿い、対策の徹底を図りながら11回の本部会議を重ね、各公共施設、学校、イベント、行事への対応を関係機関と協議しながら行なってきた。

また、町独自の支援策6事業を決定しスピード感を持って対応している。詳細については関係課長から答弁させる。

### 総合政策課長

② 特別定額給付金事業は、全対象世帯の約88%の給付が完了している。

### 産業振興課長

② はしかみ応援振興券事業は、6月下旬の発送、町内事業者支援金給付事業は、商工会より該当する事業者の方へ申請書類を送付する。広く告知するためPRを図る。小規模事業者経営改善資金融資に係る利子補給事業は、商工会と連携し実

施・PRを図る。

### 建設課長

② 緊急雇用創出事業は、6月中旬に作業内容の精査、業者選定等を行い町民から広く募集する。

### 健康福祉課長

② 医療福祉事業所等への不織布マスク配布事業は、約7万枚を配布する計画とし、3回で配布を完了した。

### 教育課長

② 小中学校の給食費無償化は、本町に住所を有する児童生徒の保護者負担分を4月分から当面の間無償化し、事務手続きを進める。

### 税務課長

② 各種税の徴収猶予特例制度は周知を図り、申請・相談等の実施は丁寧な対応に努める。

問②

① 感染疑いや感染者への処遇支援と医療体制を伺う。

② 災害備蓄用マスク等使用の配布基準と内訳を伺う。③ 緊急事態宣言解除前の小中学校に登校への考え方や対策、恒久的な小中学校給食費無償化の考えを伺う。④ 給付支援

の受給困難者や申請不備等への対応を伺う。⑤ 町内事業者支援給付金事業の対象基準を伺う。

答②

### 健康福祉課長

① 三戸地方保健所帰国者・接触者相談センターでの検査を紹介し、医療機関等と連携しつつ対応する。治療が必要な方は感染症医療費助成制度を活用し対応する。

### 総務課長

② マスクは、来庁者の安全等を考慮し、手作りマスクなど全職員に着用を義務づけた。消毒液は庁舎、小中学校、各施設に配布した。

### 教育課長

③ 学校再開ガイドライン、感染状況等を踏まえ検討し生活指導を徹底する上で再開を判断した。給食費は町の財政と国、県の動向を注視し検討したい。

### 総合政策課長

④ 再送付、代理申請、誤記等の確認後対応する。

### 産業振興課長

⑤ 中小企業基本法を基準とし一般法人や社会福祉法人は該当とならず、

第一次産業者、雇用を伴わない事業者は書類の提出を求め、複数経営者は会社ごとの申請となる。

問③

① 学習プログラムの遅れの程度、回復の対応を伺う。

② 複合災害時の避難所の開設等や備品等の対応を伺う。③ 各施設の新しい生活様式や業務形態への考えを伺う。

答③

### 教育課長

① 学習プログラムの遅れは、概ね1週間と見込まれ、夏休みを短縮し対応する。

### 総務課長

② 避難所開設運営はソーシャルディスタンスの配慮、3密の回避、飛沫防止対策が必要と考えられており、マスク、消毒液等必要な資材の確保に努めたい。③ 身体的距離の確保、手洗い、手指消毒マスクの着用、3密の回避等を継続し、万全を期したい。

問①

ハマの駅あるでいしばに係るはしかみふるさとラボの令和元年度の決算内容と来場者数イベント数、うみばた会の会員数を伺う。

答①

### 町長

約153万円の当期純利益、年間来場者は25万1526人で11回のイベントを実施し、うみばた会は22名である。

問②

来年度以降のあるでいしばの運営要件を伺う。

答②

### 産業振興課長

2期目もはしかみふるさとラボを運営管理団体と考え、事務手続き等を行い指定管理者としたい。

問③

ラボの資産や監事、理事、理事長等の在り方と待遇、また、指定管理料の低減の考えを伺う。

答③

### 産業振興課長

ラボの資産は町へ無償譲渡し、監事、理事、理事長等の任期は2年で定時評議員会の終結まで在職となる。指定管理料の低減に努めたい。

〔町長〕お客様に愛される店舗運営を目指す  
ハマの駅あるでいしばの運営について

## 浜谷町長の政治姿勢について

〔町長〕  
思い込みによる誤解や間違いがある

### 問①

①コロナ禍への「町独自の支援策」について、時間があるにも関わらず、臨時議会を開かず専決処分を行なおうとしたのは、議会軽視ではないか。②3月議会で、町長は「特定の地域の要望は一般質問として適当でない」と述べたが明らかに間違っている。③階上漁協榊部会が出した「町長への要望書」や住民からの「署名付き請願書」を「取り下げ」させる強要行為が2回ほどあった。これは民主主義に反することではないか。④町長は「議場での私の一般質問の時間」や「議会だよりの私



寅谷 正 議員

の紙面」を使って、一般質問の答弁内容とは関係のない、私への批判的な攻撃を行っている。私は町長の立場を利用している。パワハラ攻撃ではないか、町長としてあるまじき態度だと思うが、町長はどう考えているか。⑤3月議会での一般質問通告を提出した後、フノリの異常な成長の部分において都合の悪い部分はカットするように部下職員を使って命じているように思われる。これは一般質問の事前検閲に当たると思いますが、指示した覚えはないか。⑥役場の人事登用について、身内や支持者やイエスマン優先が露骨にやられるようになったとの話が聞こえるがどのように考えているか。

### 答①

#### 町長

①今日の質問でも、感情的な思い込みが強く感じられるが、それによる誤解や間違いが多分にあるように思う。専決処分については、5月4日に全協で説明したので、議

会軽視とは考えていない。②特定の地域の単一的な要望としてのあり方を述べたもの。③強要行為の事実はない。一部の部会員が提出したもので、代表者が自らの意思で取り下げたもの。④限られた紙面の中で、読者に誤解を与えないように校正したものの。⑤議員本人がそういう事実のない事を確認され議員の了解の上、削除されたと伺っている。⑥個々の特性や能力に基づき「公平中立」「適材適所」で配置。

### 子育て支援策について

〔教育長〕  
既存の事業と併せて、総合的に判断したい  
〔町長〕  
医療費の所得制限を撤廃し中学生まで無償化

### 問①

①コロナ禍による「町独自の支援策」として当面の間「小中学生の給食費の無償化」を打ち出したことに絶賛の声が上がっている。この機会に今後も継続してもらえないか。②

小中学校の所得制限が青森県においても数年前から大幅に拡大されたにも関わらず、我が町が「完全無償化」にならないのは町長の考えによるということであった。何が「障害」になっているのか。また、高校までの医療費完全無料化を宣言して南部町に肩を並べることはできないのか。③12月議会でのエアコン設置の公的施設での優先順位は小中学校、公民館（特に図書室）、議会傍聴室、役場庁舎内、議会議事堂を民意とすれば妥当だと質問したが、意に反して、役場庁舎内に予算が1億7千万円ついた。決して悪い訳ではないが、私も3月議会で指摘をしたが、「町長は自分達が居る所が最初か！」との批判が出た。熱中症の心配もあるので即座に小中学校に予算をつけ、次の確約をするべきではないか。

### 答①

#### 教育長

①長期的な無償化は、町財政運営への負担は大きく、又、国負担で行

なうべきとの声もあり、国・県の動向を注視する。③エアコン設置の順位は、3月定例会で説明したように役場庁舎のボイラーの老朽化に伴い最初に庁舎への設置となったもの。

### 町長

②今後は、所得制限を撤廃し、0歳から中学生まで全ての対象者への無償化を実施したい。また、「高校生までの無償化」は、町の財政状況を見ながら検討したい。本町は南部町とは違って、合併特例債や過疎債等がなく財政力が弱く、肩を並べるのは困難。

### 小中学校後援会寄付金徴収に関する周知徹底について

〔教育長〕  
町や教育委員会が関与出来るものではない

### 問①

昨年の9月議会  
の一般質問で

「町内義務制の小中学校における学校寄付金の徴収」について質し、理事者より、「任意団体であ

るので各学区の判断に委ねる」という結果を得た。しかし、町内会総会では、何事もなかったように、募金計画が町内会議案書に盛り込まれていた。関係者への周知徹底の仕方について担当部局からの答弁を求める。

### 答①

#### 教育長

学校後援会は、学区の方々の善意で組織されている「任意の団体」であり、後援会寄付金についても、それぞれの後援会で徴収方法等を決めて運営しているため、町や教育委員会が関与出来るものではなく、「周知する必要はない」とも考えている。

### その他の質問

・「広報はしかみ全戸配布の件について」、「小白浜海岸の「磯焼け」拡大の原因と対策について」、「日本海溝大津波に関する対策について」は紙面の関係上掲載を省略。

# 質疑めざつれ

第2回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

## 報告

寅谷 正議員

◆階上地区水産物供給基盤機能保全事業

問 事業計画と事業遂行は。

答 建設課長 大蛇漁港の改修事業で3年計画とし、今年度完了の見込みである。

◆茨島・野沢線道路改良事業

問 工事未着工の理由は。

答 建設課長 国の補正予算がつかまりましたので、これから事業を執行する。

## 専決処分 (条例の一部改正)

寅谷 正議員

◆階上町税条例等

問 使用者を所有者とみなして課税するということだが、所有者が明らかでない固定資産の使用許可はどこが出しているのか。

答 税務課長 所有者以外の者が許可することはない。例としては、所有者が死亡する前に貸借し、死亡後に相続人が全員相続放棄した場合が考えられる。

## 専決処分 (元年度一般会計予算)

荒谷憲輝 議員

◆不動産売却収入

問 売り払いの内訳、旧集会所の建物評価と使用制限の有無は。また、中央団地は定住促進助成制度活用の購入か。

答 総合政策課長 旧榊集会所370万円、旧駅前集会所470万円、駅前中央団地1区画140万円。両集会所の建物評価はゼロで使用制限はない。団地は制度活用の購入で、8区画残っている。

長根岩夫 議員

◆プレミアム付商品券事業費

問 約148万円の減額だが、消費税値上げの低所得者への事業であり、成果を上げるための施策は。

答 健康福祉課長 全国的に申請率が低く、町では個別通知や広報等への掲載、再勧奨通知等をした。申請及び商品券2万円分の購入が必要なこと等が率の低さの原因と思われる。

◆低所得者利用者負担金対策事業費補助金

問 利用者や用途は。

答 健康福祉課長 県の補助金事業で、社会福祉法人が利用者自己負担分4分の1を軽減した場合に国、県、町が一部補助するもの。元年度の支給要件を満たす対象者は1名で5万5千円の減額となった。

## 第3回臨時会

令和2年第3回臨時会が、7月21日に招集され、審議の結果、全会一致で可決しました。

### ▽2年度一般会計補正予算(第2号)

3億6042万円を増額補正し、予算総額を75億5030万円としました。  
歳入は、繰入金2670万円、諸収入4347万円を減額し、国庫支出金3億9560万円、県支出金1500万円、町債2千万円を増額しました。歳出は、総務費32

09万円、教育費3億2236万円等を増額しました。  
歳出の主なもの、当面の間としていた「学校給食費の無償化」を令和3年3月まで延長、児童生徒の創造性を育むため、1人1台教育用タブレット端末と、校内高速ネットワーク環境を整備するための「ギガスクール構想事業」、児童生徒の熱中症対策として、普通教室などにエアコンを導入するための「小中学校エアコン設置事業」を実施するものです。

## 議会だより編集委員会

- ◇今月号の編集委員(3人)
- ・大江 和夫 議員 (総務財政)
  - ・大下 修 議員 (教育民生)
  - ・下沢 育男 議員 (産業建設)



## 議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。(新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただいております。)

### 議会傍聴者数(延べ人数)

- ・第2回定例会 (令和2年6月)
  - 6月9日(3人)
  - 6月10日(7人)
  - 6月11日(4人)
- ・第3回臨時会 (令和2年7月)
  - 7月21日(1人)

## 編集後記

コロナウイルスの関係で、町の事業も中止に追い込まれております。町民の健康及び、町の経済も心配です。コロナに負けない元気な町民でありたい。(大江・大下・下沢)